



クイズ→七条図書館には、約何冊の本があるでしょうか？

- ①. 約10万冊 ②. 約5万冊 ③. 約1万冊
④. 約3万冊 (答えは、プリントのウラ、さがしてください)

美しい写真を見てるだけでも いやされる、そんな本たちを集めてみました。

世界で一番美しいクラゲの図鑑

(リサ・アン・ガーシュウィン)

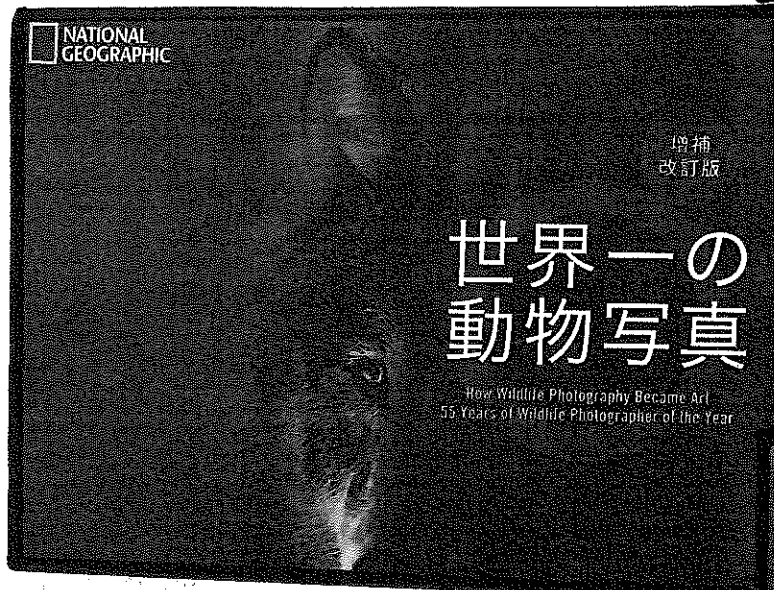
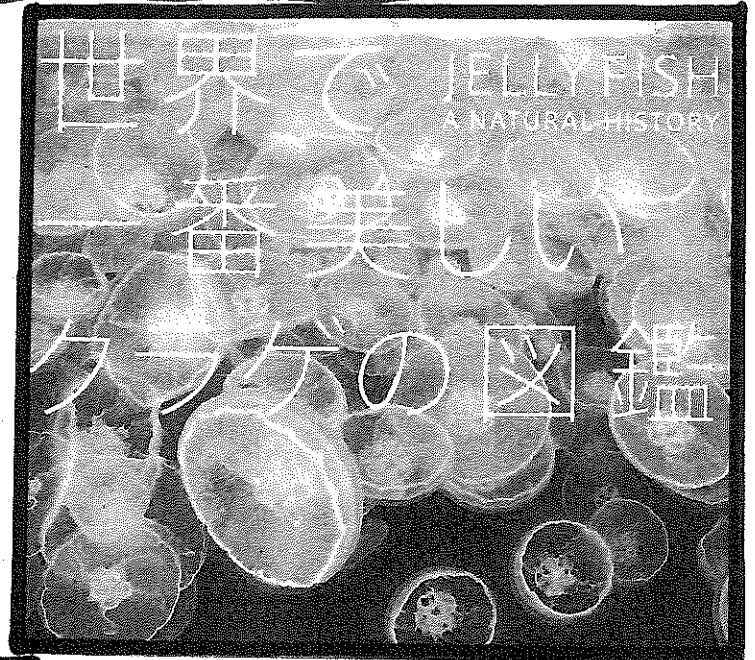
クラゲのすべてがわかる、クラゲ図鑑。

「人をも殺す猛毒をもったオーストラリアウンバケクラゲ」

「巨大な群体をつくらあやしく光るヒカリボヤ」

「初めて見つけた不老不死の生物、ベニクラゲ」
など、など。。。。。

今まで知らなかった、クラゲたちへのめくるめく
驚きが待っています。



世界一の動物写真

(ロザムンド・キッドフン・ゴッフス)

それぞれの時代を代表する多くの偉大な
写真家たちに焦点を当て、解説する。画期的な
ポートレートから、思わずため息のまれる空中撮影や
水中写真、クローズアップ写真など幅広い。

世界服飾大図鑑 (DK社編)

ファッションへの興味、絵画への興味、そして
広く着ることへの理解を、一層深めてくれるに違
いない一冊です。

(本書の特徴) 古代エジプトのファラオのファッションから
現代イギリスのキャサリン妃まで、5000年にわたるそれぞれの
時代のファッションを時系列に並べて掲載。



アンネの人生のこと、ここにお伝えします。

《隠れ家》は
退屈じゃない?

ヒトラーは
なぜ
ユダヤ人を
嫌ったの?

だれが
アンネ・フランクを
裏切った?



アンネのこと、すべて
(アンネ・フランク・ハウス 編)

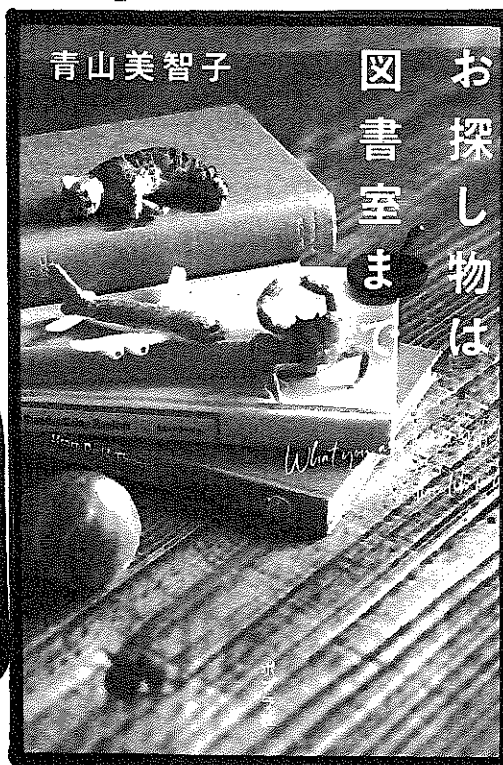
アンネ・フランクが迫害を逃れてひそんだ《隠れ家》で、13歳から15歳の日々をつづった『アンネの日記』は、いまなお多くの人に読みつがれています。アンネが生きたのはどのような世界だったのでしょうか。これまで子どもたちから寄せられた、たくさんの質問に答えるためアンネ・フランク・ハウスは、この本をつくりました。その誕生から死、そして今までをたどります。

アンネのこと、すべて。

お探し物は図書館まで (青山美智子)

(内容紹介)。人生に悩む人々が、ふとしたきっかけで訪れた小さな図書館。

彼らの背中を、不愛想だけど聞き上手な司書さんが、思いもよらない本のセレクトとかわいい付録で、後押しします。



お探し物は
本ですか?

仕事ですか?

それとも
人生ですか?

ふ〜ん、
冊 1137
現在
③
お返しは

思わず
考えちゃう
(ヨシタケ
シンスケ)

くあわよくば、生きるヒントに!

大人も子どもも、それ以外も、「考えちゃう」すべての人へ——。

「自由って何?」「子どもに優しくできないよ」「明日、すごいやる気を出す方法」など、など。読むとクスッとしてホッとしてちょっと泣く、エッセイ。(内容紹介)

